

# 画面に手で触れ入力

## 東芝がデータベースソフト

### 音声でも99年度メド商品化

東芝はパソコン画面に直接手で触れて指示できる入力法（ジャスチャー認識）も可能なデータベースソフト「秘書エージェントシステム」を開発した。ジェスチャー認識や音声入力などを使い、使い勝手を格段に向上させたソフトで、今後、社内で実証実験を重ね、九九年度内の商品化を目指す。

秘書エージェントはパソコンに不慣れたビジネススマンを対象としたデータベースソフト。パソコン画面に直接手で丸を書くなどしてデータベースを取り出す指示方法や、音声入力を取り入れる。

築のコンサルティングまであります。多岐にわたる業務を展開し、「ダンスミュージックの音楽OD（コンパクトディスク）を企画・販売しています。社員はわずか五人で典型的なSOHOです。大半の業務はアウトソーシング業務の外部委託（東京・港区）は、大手としており、採算面でも上々。広告代理店から独立した伊藤佳氏（38）ともう一人です」

## ビジネス

活動しています。生産は海外展開を容易にしているわたり、人材を融通し合うのが狙いです。実際に成功するには「オフィスの賃料、コピー代、コンピュータの維

# 人脈づくりがカギ

## 団結

ら独立した吉井信隆氏（46）が九五年に設立したインタウオース（東京・豊島）がそれです。起業家のアイディアを大手企業などに持ち込み、資金協力を得ながら新規事業を立ち上げていま

定したそれぞれの「秘書」が蓄積した情報をもとに本人に代わって問い合わせを答えることができる。今後、社内で千人規模のユーザーインターフェイスの実証実験を展開。音声認識や音声合成、ペン入力、ジェスチャー認識など様々な

## パソコン 国内出荷台数10%増

10月12月 伸び率鈍化 96年通年は33%増

日本電子工業振興協会（金井務会長）は四日、九月六日～十二月の国内パソコン市場調査を発表した。国内出荷台数は前年同期比一〇%増の百七十二万三千台。九六年暦年（一～十二月）の国内出荷台数は前年比三三%増の六百八十九万六千台と、前年比に比べ三本減った。配給収入ベースでみた邦画と洋画の比率は邦画三六・三%に対し、洋画は六三・七%と前年とほぼ変わらなかった。

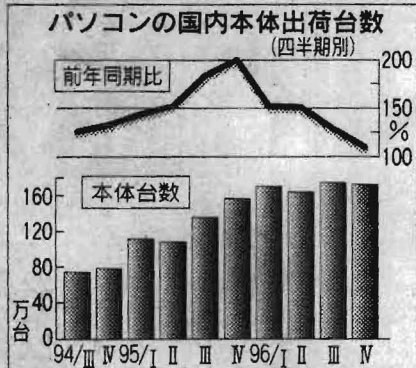
96年全国映画概況 (カッコ内数字は構成比、%)

| 区分        | 配給・興行成績        | 前年比 (%) |
|-----------|----------------|---------|
| 入場人員(千人)  | 119,575        | 94.2    |
| 興行収入(百万円) | 148,870        | 94.3    |
| 平均入場料金(円) | 1,245          | 100.2   |
| 配給収入(百万円) |                |         |
| 邦画        | 23,001 (36.3)  | 90.8    |
| 洋画        | 40,337 (63.7)  | 93.5    |
| 計         | 63,338 (100.0) | 92.5    |
| 映画館数      | 1,828館=プラス52館  |         |

## 映画入場者 戦後最低5.8%減

昨年1億957万人 映画館は増加

日本映画製作者連盟はこのほど九六年の映画統計をまとめた。それによると入場者数は一億九千五百五十七万五千人と前年比五・八%減り、戦後最低だった九二年をさらに下回った。興行収入、配給収入とも前年を下回った。外資系中心に郊外型のシネマコンプレックス（複合型映画館）の地方展開が進み、映画館数（スクリーン数）は千八百二十八館と五十二館増えたものの、アニメの動員力が落ち込んだほか、洋画も十億円以上の配給収入を記録した作品は十八・二%増えた。



九六年度の国内出荷台数は前年度比三三%増の七百五十万台を予測しているが「常識的には達成は難しい」（東芝の発するイン

## インターフェース構築

溝口哲也取締役 下方修正の可 九七年度の は今年度見込 の九百三十

日本情報処 ST E P 推進 CAD (コン による設計) の 換のための 「STE P」 ルやシステム